



信頼される学校をめざして

学校が保護者や地域住民から信頼され応援されるためには、校長のマネジメントのもと、学校・家庭・地域が熟議や対話を重ねながら、連携・協働して学校の使命を果たすことが肝心です。そして、こうした教育活動の充実により、教育の質の向上とともに、人のつながりが構築され、学校や地域が安全・安心な環境となり、保護者は、安心して子どもを育てることができるのではないのでしょうか。

子どもは、教師との信頼関係のもとに、「わからないことがわかるようになる。できないことができるようになる。」ことで自らの成長を実感し、さらに幸せを感じる居場所であるとき、「学校へ通いたい」と思うのです。子どもが、そうした社会に役立つ能力を身に付け、望ましい変容を遂げることで、保護者は「通わせたい」と感じるのです。地域の場合は、学校と関わることの価値を感じなければ協力はありません。あったとしても、リピーターとはなりません。子どもに関わることで、自分たちも貢献しているという「やりがい」や「生きがい」を感じるなど、地域と学校の結びつきを実感できたときに、「協力したい」と思うのではないのでしょうか。

「子どもが変われば、大人が変わる。大人が変われば、子どもが変わる。」とよく言われますが、やはり、「学校」・「家庭」・「地域社会」は、根っこの部分でしっかりとつながっているのです。学校関係者評価委員会等の協働体制の仕組みを活用して教育活動の充実を図り、学校としての使命を果たしていくことが、保護者や地域社会の満足度を上げ、信頼を得ることにつながっていくと思うのです。

今後も全教職員で子どもたちにしっかりと寄り添い、一人一人の持てる力を最大限に伸ばしていきます。引き続き、本校の教育にご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

校長 山本 智文

学校関係者評価委員会

第1回目の学校関係者評価委員会を小中合同で6月7日(水)に本校にて行いました。小学校の本年度の学校評議員は、藤井清登様(蒲刈町)、臼井教司様(下蒲刈町)です。学校関係者評価委員は、木村敏之様(蒲刈町)、長迫 秀様(下蒲刈町)です。

5校時の授業参観では、児童の様子を見ていただき、18時からの「小中合同学校関係者評価委員会」では、今年度の小中学校における特色ある取組等について説明をさせていただきました。出席された方々からは、「落ち着いて集中して学習に取り組んでいる」「運動会の子もたちのがんばる姿に感動した」等と評価していただきました。次回は、10月17日(火)に開催の予定です。外部からの学校教育活動に対する貴重なご意見等をいただき、学校教育内容に反映していきたいと考えます。



【学校関係者評価委員会の様子】

第58回交通安全子供自転車広島県大会に参加しました！

6月24日(土)に、本校の5・6年生の代表児童が選手として出場しました。6月から大会出場に向け練習を開始しました。水曜日と金曜日に広島県交通安全協会広支所の方々に来ていただき、放課後、熱心に指導していただきました。子どもたちは、毎日、休憩時間や放課後、一生懸命練習に励みました。誰一人、手を抜くことなく、自転車をこぎ続けました。広警察署管内の小学校の代表として、少しでも良い成績をあげようと努力し続けました。

大会は、広島市西区商工センター内の広島市中小企業会館で行われました。会場はとても広く、実技試験の準備が整えられていました。まず、9時30分から「学科テスト」が30分間行われました。その後、開会式が行われ、いよいよ実技協議の開始です。代表選手はグループに分かれ、実技協議にチャレンジしました。たくさんの観衆の中でも



誰一人臆することなく持てる力を発揮しました。

そして、いよいよ閉会式での「成績発表」。まず、団体の部の成績が発表されました。優秀賞の6校の学校名が順番に読み上げられました。「東広島市立原小学校」「福山市立神辺小学校」「福山市立中条小学校」「府中市立栗生小学校」「北広島町立芸北小学校」「呉市立蒲刈小学校」。蒲刈小学校の名前が飛び込んできたとき、私たちの応援席では大歓声があがりました。感動の嵐です。主催者の方から「賞状」と「楯」が子どもたちに手渡されました。閉会式終了後、みんなで記念写真を撮りました。とてもよい思い出となりました。

わずか1ヶ月弱の練習期間で、いきなり6位に食い込むとは、子どもたちのかってほんとうにすごいと思いました。子どもたちは大きな自信をつかんだことでしょう。これからも子どもたちの力を信じて教育に邁進していきます。選手のみなさん、大きな感動をありがとう！



【実技競技の様子】



【記念写真】

地域の方とグランドゴルフ交流！

6月29日(木)の1・2校時に、3・4年生が地域の老人クラブの方々とグランドゴルフを通して交流しました。総合的な学習の時間の学習活動「地域を見つめよう」の企画に係り計画・実行しました。今回のグランドゴルフの交流を通して、子どもたちが、お年寄りの方々の蒲刈の地で生き生きと暮らしておられる姿を身体で体感することで、自分たちにできることを考える機会とたく計画しました。蒲刈小学校では、子どもたちに「生き方学習」の一環として、蒲刈町・下蒲刈町の「ヒト」「コト」「モノ」に出会わせることで、自分たちの住んでいる地域に目を向け、地域で生きることの価値に気づき、自分の生き方につなげていきます。子どもたちは、地域の方々と楽しく素敵な時間を過ごすことができました。この経験を、今後の学習に生かしていきます。

👉中国新聞社の記者の方が取材に来られました。



【最後はハイタッチでお別れ】

歯みがき指導実施

6月29日(木)の5校時に4・5年生が「歯みがき指導」を受けました。講師として、下蒲刈病院の2名の歯科衛生士の方々をお招きし、「歯みがきの大切さ」について学んでいきました。歯みがきの最大の目的はプラーク(歯垢)を落とすことです。プラークは生きた細菌の塊で、むし歯・歯周病等の原因になりますが、歯と同じような乳白色をしているため、注意してみがかないとみがき残してしまいます。さらに、水に溶けにくく、歯の表面に粘着しているため、うがいでは取り除くことができません。歯みがきによって、このプラークを取り除きむし歯や歯周病等にならないようにすることが大切です。子どもたちは、「歯の染め出し検査」を行い、自分の歯のどこが汚れているかを確認し、自分の歯にあったみがき残しのないみがき方を学ぶことができました。改めて、歯みがきの大切さを認識できた学びの時間となりました。

【染め出し検査の様子】

